**演習ワークシート１　　　　　　　　初回面接場面での演習を通じたトレーニング**

**☆テーマ**

**傾聴しながら、相談者の主訴を把握するとともに、信頼関係の形成を促進する介護支援専門員の姿勢、態度について考える**

|  |
| --- |
| 【事例の概要】  利用者　Nさん、85歳の一人暮らしの女性。介護認定は受けていない。脳梗塞の既往歴があり、軽度の片麻痺が後遺症として残っている。最近、歩行が不安定になることがあり、掃除や洗濯などの家事や、買い物や通院などの外出が大変に感じてきている。地区担当の民生委員が訪問した際にそのことを相談したところ、介護保険サービスの利用を勧められ、居宅介護支援事業所につなげてもらった。  １．個人ワーク  　Ｎさんが介護保険サービスを利用したい理由を考えて、整理しましょう  　○現在、困っていること、今後の生活への希望や不安、介護保険サービスの利用を考えたきっかけなどは  　○介護保険制度を利用するにあたっての期待や不安は  　○Ｎさんが、初めて介護支援専門員に会う時の気持ちは  　○その他、考えられること |
| ２．ロールプレイ  気が付いたことをメモしましょう（介護支援専門員役をやって聴き取った内容・Nさん役をやってみて感じたこと） |

**演習ワークシート2　　　　　　　　　　モニタリング場面を想定した演習**

**☆テーマト**

**利用者を多面的にとらえ、自己を客観視することの重要性を考える　（参考：第２節・第３節）**

|  |  |
| --- | --- |
| 【事例の概要】  　・利用者Sさん： 認知症高齢者の日常生活自立度はⅢa（日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする）、障害高齢者の日常生活自立度はB（屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ）である。BPSD（認知症の周辺症状）は物取られ妄想が見られている。また、自分の体が思うように動かないことにいら立ちを感じている。訪問介護サービスを利用している。  　・家　族：　同じ市内に在住しているが、日中は仕事に出ている。  　とある日、介護支援専門員はSさんの訪問介護サービス利用日に、モニタリングのためホームヘルパーと同時間にSさん宅を訪問しました。ホームヘルパーはSさんと話した後、食材等の買い物に出ようとしましたが、Sさんの財布が見当たりません。Sさんは普段あまり見ない顔である介護支援専門員が盗んだのではないかと疑っているようです。さらにSさんは「自分で買い物に行く」と主張しだしました。   |  | | --- | | 介護支援専門員として自己をコントロールし、Sさんを支援するにはどのようにするのが理想でしょうか。  グループで意見を出し合ってみましょう | |

**演習ワークシート3　　振り返り～相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎**

|  |
| --- |
| **１．相談援助を行う職種としての基本を振り返りましょう**  （１）直接援助を行う職種と相談援助を行う職種をあげてみましょう  （２）相談援助を行う職種に求められる基本姿勢や留意点について述べてみましょう  **２．介護支援専門員はどのような立場で職務を行うのかを振り返りましょう**  （１）ソーシャルワークとは、具体的にどのようなことを行うのかを述べてみましょう  （２）バイステックの７原則をあげ、それぞれにどのような意味があるのかを述べてみましょう  （３）利用者を多面的にとらえる視点をあげ、それぞれの特徴を述べてみましょう  （４）自分を客観視するとは、具体的にどのようなことなのかを述べてみましょう |

**演習ワークシート4　　　　　　　　　　　　倫理的な課題に関する事例**

**以下の事例を読んで「倫理的な課題があるか」「どのようなことが倫理的な課題であると考えるのか」「どのようなことに配慮し、行動すべきか」を考えましょう**

|  |
| --- |
| 事例：利用者と家族の意見の相違  【事例の概要】  Ｋさんは、要介護2、78歳の女性です。腰痛と膝痛のため整形外科に通っていましたが、症状が悪化し、部屋の中を伝って移動するのがやっとになりました。歩行機能が低下してからは認知機能も低下し、何度も同じことを聞いたり、火の不始末も出てきたりしました。Ｋさんは、子どものころから家事を手伝うのが好きで、結婚後も専業主婦となり、今日まで家庭での役割を担ってきました。  　現在は、53歳の会社員で未婚の長女との二人暮らしです。長女としては、Ｋさんに何かあっても仕事を簡単には休めないため、何としてもＫさんにデイサービスに行ってもらわなければ困ると、介護支援専門員に強く意思表示をしています。Ｋさんは、このまま自宅にいたいと思っていますが、長女には自分の気持ちをはっきりと言えずにいます。  　介護支援専門員としてもＫさんが日中一人で過ごすには、失火の可能性、自宅内の移動を伴う排せつ、食事、入浴等の動作ができず転倒の危険性があること、さらに長女の介護負担を考えるとデイサービスへ行くのが妥当だと判断し、デイサービスの利用を居宅サービス計画に位置づけました。  【個人ワーク】  ①この事例での倫理的な課題は何でしょうか  ②介護支援専門員は、どのようなことに配慮し、どのように行動すべきでしょうか  【グループワーク】  　グループで他のメンバーから出た意見や、気づいたことをメモしましょう |

**演習ワークシート5　　振り返り～人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理**

|  |
| --- |
| **１．介護支援専門員の倫理について振り返りましょう**  （１）人格と尊厳を支えるために、介護支援専門員にはどのようなことが求められるか、あげてみましょう  （２）介護支援専門員としての職業倫理にはどのようなものがあるか、あげてみましょう  **２．人格と尊厳を支えるために、介護支援専門員としての専門性を振り返りましょう**  （１）ケアマネジメントを実施するうえで介護支援専門員にはどのような倫理原則があるのかをあげ、求められる姿勢を述べてみましょう  （２）日常業務を行ううえで起こり得る倫理課題をあげ、対処の仕方を述べてみましょう  （３）高齢者の人権や尊厳を守るための制度にはどのようなものがあるかをあげ、その利用方法を述べてみましょう  （４）高齢者に対する意思決定支援の必要性を述べ、その具体的な課程を説明してみましょう |